

二松学舎大学人文学会

第一二二回大会

七月一七日（土）

開会…一二時五〇分
閉会…一七時一〇分

於 二松学舎大学九段キャンパス一号館（オンライン併用）

申込不要・聴講無料

開会の辞：12時50分（小山聡子研究委員長） 於 中洲記念講堂
〈研究発表〉

第1会場（13:00～15:40） 於 201教室

- (1) 宋迪（国文学専攻博士後期課程2年）
「太宰治「十二月八日」―「日記」と「私」に関する考察」
- (2) 王学勤（国文学専攻博士後期課程1年）
「芥川龍之介『疑惑』への考察」
- (3) 王弘（中国学専攻博士後期課程2年）
「李文権と渋沢栄一の交遊
―『中国実業雑誌』と『他山百家言』をめぐる―」
- (4) 張付梅（中国学専攻博士後期課程3年）
「『燕塵』にみられる服部字之吉の一考察」
- (5) 林英一（文学部専任講師）
「最後の元残留日本兵―インドネシア独立戦争の陣中日誌を読み直す―」

〈研究発表〉

第2会場（13:00～15:10） 於 中洲記念講堂

- (1) 鈴置拓也（中国学専攻博士後期課程2年）
「明治初期の東京大学における漢学観の変容
―明治十六年の井上哲次郎・中村正直議論を例として―」
- (2) 石高原（中国学専攻博士後期課程3年）
「清末における悲劇観の形成過程―『紅樓夢』評論を中心に―」
- (3) 陳越（中国学専攻博士後期課程3年）
「遣明使節の私貿易に関する一考察 ―策彦周良の『初渡集』を中心に―」
- (4) 陳坤（中国学専攻博士後期課程3年）
「古賀侗庵の漢詩文に見る中国の君主像及び興亡論」

〈特別企画〉16:00～17:00 於 中洲記念講堂

「笑いの歴史文化学」

- 一、解説「江戸の寄席」（中山桂教授）
- 二、落語（柳亭燕三師匠『蜘蛛駕籠』）
- 三、対談「落語の世界」

閉会の辞：17時（山口直孝会長） 於 中洲記念講堂

「歴史文化学科」開設（予定）に伴い、
卒業生の柳亭燕三師匠をお招きした特別企画、
「笑いの歴史文化学」を開催いたします。

〈総会〉17時10分～17時40分

※大会の詳細は、二松学舎大学公式HPを御覧ください。



第1会場



第2会場・企画